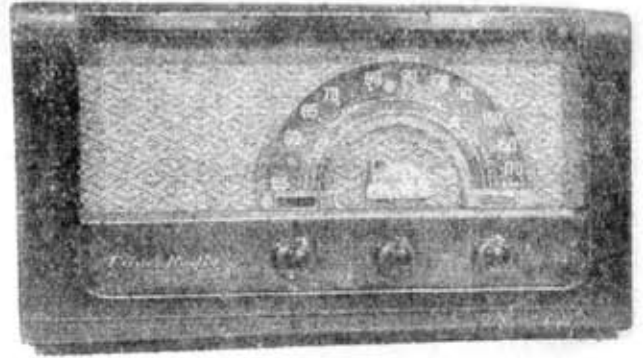


プリンス

P-1 卓上型

6球スーパー



P1 型受信機正面

本機は卓上型のマジック・アイの付いた6球スーパー受信機で、概要は次のとおりである。

- 受信周波数帯 575~1675kc
- 電氣的最大無歪出力 約 1.5W
- 電源電圧 85~105V (50~60c/s)
- 全負荷入力 69VA

キャビネットは、厚さ 11mm の木製で、ラッカー塗装が施され、大きさは、奥行 200mm、幅 465mm、高さ 270mm、ネットの張られた前面右よりに、扇型のダイヤル文字板があり、余り良いデザインとは思えない。

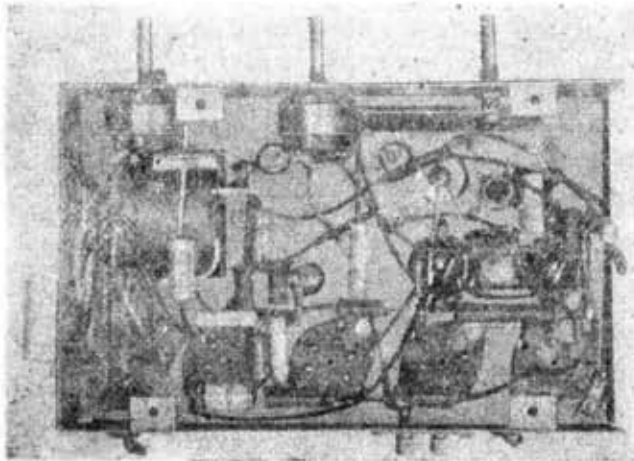
ダイヤル文字板は、透明のプラスチックで作られた大きなもので、減速比は 8 対 1 である。

本機のように、小規模なメーカーの製品には、よく市販の部分品を寄せ集めて組立てたに過ぎないものがあり、調整用の試験装置を完備していないため、十分受信機の機能

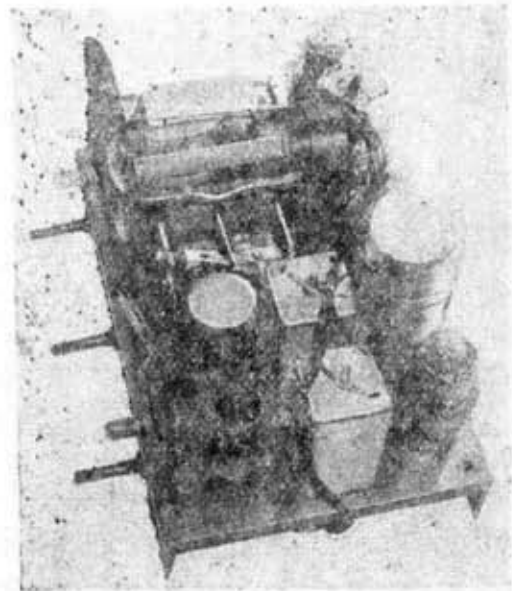
を発揮させえないものが多いが、この受信機も試験結果からみてその一例のようで、いわゆるアマチュアの製作する受信機と大差ないように思える。

性能の点からみると、選択度特性はまず妥当なものであるが、三点調整が不十分であるため、感度差が大きく、映像比も高い周波数ではかなり小さくなっているなど、感度特性が悪い。

その他、歪特性、電氣的忠実度特性も決して良いとはいえず、受信周波数帯も 575kc~1675 kc であるから、低い方の周波数帯がカバーし切れず、適当ではない。



P1 型受信機シャーシー内部



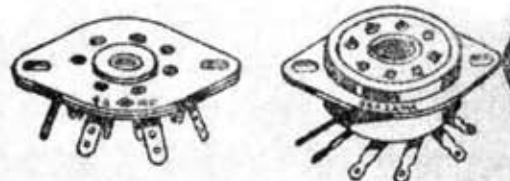
P1 型受信機シャーシー上部

優秀品を使へば故障は起らない
— 自家製品 80 種 —



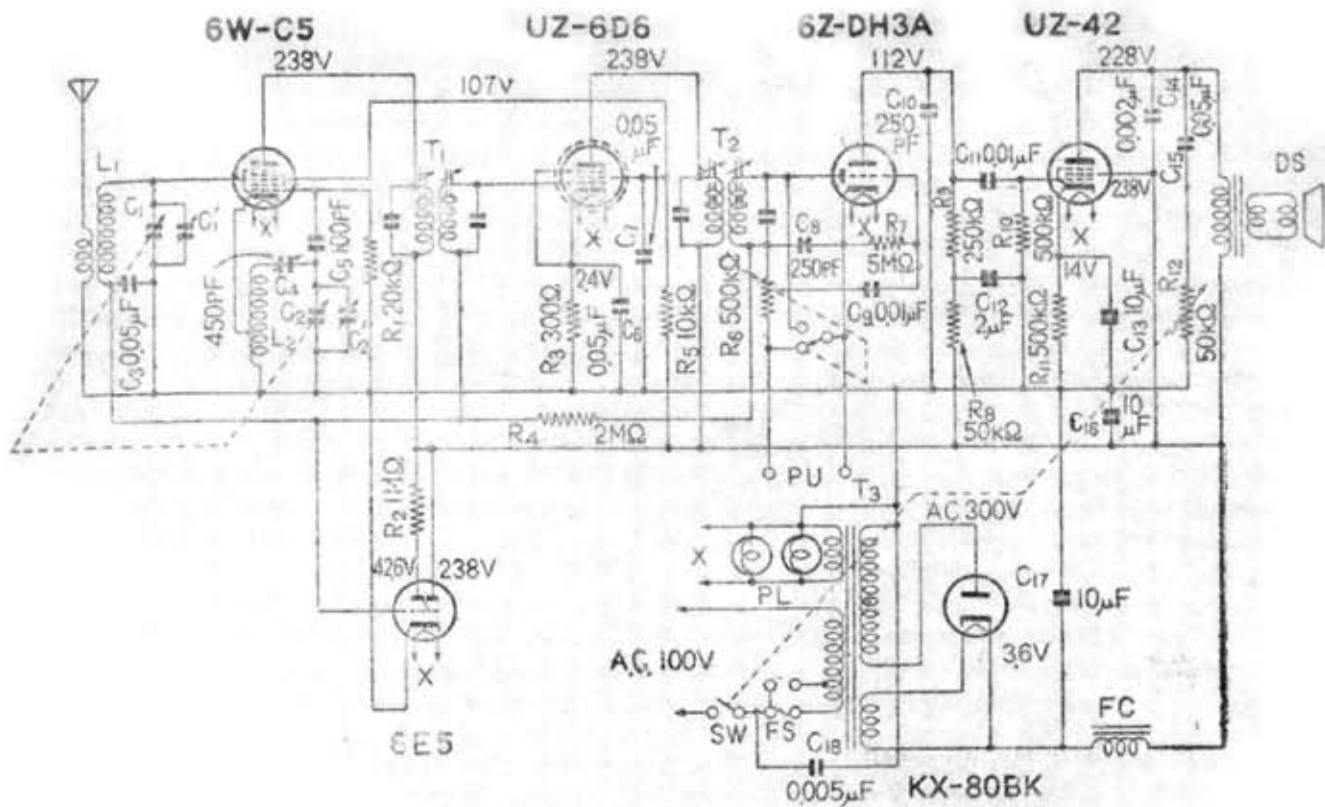
- 1 日 10 回位の使用なら震動する所で使つても 12~13 年間故障は起りません。
- 接触抵抗 0.01 Ω 以下
- 絶縁抵抗 1000 V 200 M Ω 以上

OK
オカサワ



貴金属に特殊な処理を行つてありますから、真鍮等のピンに多少の歪みがあつても楽に入ります。何百回挿ししてもバネ性に変化は起りません。バネを 100 回戻し曲げしても折れる事はありません。ハンダはすぐ着きます。接線は永久に完全。

製品 株式会社 岡澤製作所



P1 型受信機配線図

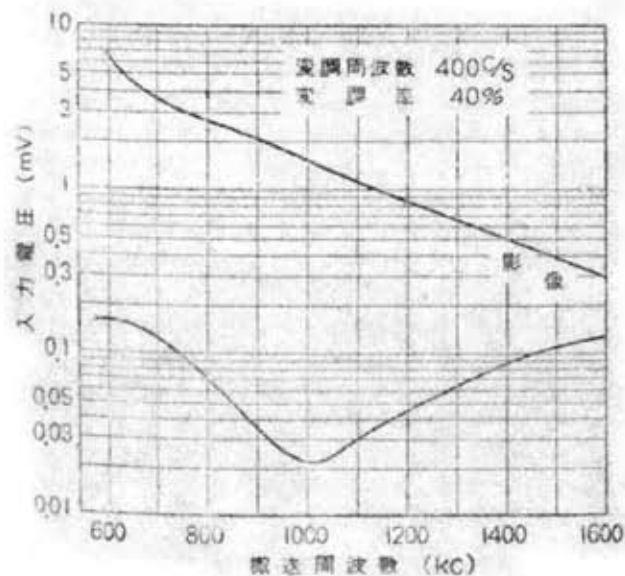
回路は最も一般的なものので何の變替もない。ただ、レジオとピツク・アップの切換回路は、ピツク・アップに切換えたとき、6Z-DH3A の二極管プレートにアースして放送音の混入を防ぐ工夫がしてある。

音質の調節は、出力管のプレート側にコンデンサーと可變抵抗の直列回路を挿入して、高域の減衰特性が變えられるようになっている。

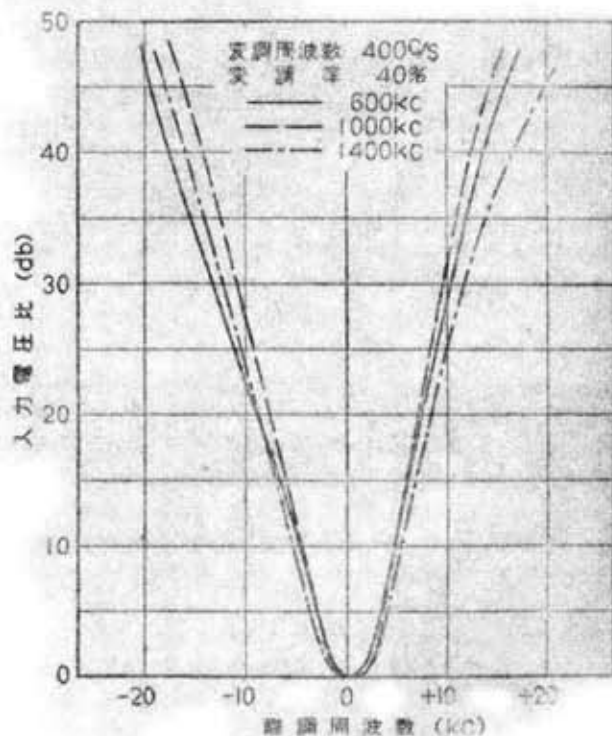
シャーシは、厚さ 0.9mm の 鋼板を加工して、カドミウ

ム鍍金したもので、大きさは 240mm×155mm×45mm であり、アース配線を半田附するための耳が打抜いてある。

構造は決して堅牢とはいえないが、割合に丁寧に素入臭い工作が行われている。シャーシ上の部品配置は余り詰められたものではない。



P1 型受信機感度特性



P1 型受信機選択度特性